公民館報 こすど

發行所
小須戸町公民館
新潟縣中蒲原郡小須戸町
編集發行印刷人 矢部藤三郎

御あいさつ

公民館の再出發に際して

館長 村山吉五郎

長い間皆さんに親しまれて參りました文化協會は去る五月八日發展的解散を遂げ、又国家としましても六月十日を以て新しく社會教育法を公布實施されることになりましたので、我が小須戸町公民館もこゝにその性格、組織の面に一大改革をなさればならない事になつたのであります。幸い各種團体並に關係各位の積極的な御支援御協力によつて着々進展して居りますことは誠に喜ばしい次第であります。尙不肖その任でないのでありますが各位の熱烈な御推輓により館長の職を汚す事になりました。社會教育の重要性が特に强調されて居ります昨今、佐山、海津両副館長ともゞ、各位の御期待にそうべく微力を致す覺悟でありますから今後共宜しく御鞭韃の程お願い致します。

さて、社會教育法にも規定されて居ります通り公民館は純然たる町の公共施設であります。つまり公民館は皆さんのものなのであります。從つて皆さんの御希望、皆さんの御意見を中心とした最も民主的な運營がなされねばなりません。こゝに皆さんと當局を直結する輿論機關である館報「こすど」が生れたのであります。この館報に盛られる皆さんの建設的な御意見並に御批判の聲が取りもなおさず公民館運動の發展であり、町の振興になるのであります。

何うぞ十二分に御利用下さいます樣御願い致します。

町議会議長選擧

議長海津良助氏

副議長 白井門藏氏

名議長として惜しまれつつも公務員法により議員拜辭の止むなきに至つた保科榮吉氏（矢代田郵便局長）の後任選擧は八月三十日定例町會で行つた議長に海津良助副議長に白井門藏兩氏が滿場一致で當選した

社會教育法と公民館

国民教育を大別すると、学校教育と社會教育の二つになる。しかし学校教育は学校教育法という法律の規定があつたが、社會教育には何等そうした法的な裏づけがなかつた。日本再建のため社會教育の重要性が强く叫ばれて來た折柄、この矛盾を解決する爲去る六月十日を以て公布実施されたのが社會教育法である。

こゝではつきりと学校社會と二つの教育が同等の立場で浮び上つて來たのである。思いば、この法律の制定こそ我が国教育史に於ける一大革命である。以上の理由よりして我々はこの法律に對して重大關心を持つと共にその内容についても十分に研究理解しなければならないと思う。

さてこの法律を通覽するとその重點は第四章の公民館に集中され、正に公民館法と言つても過言ではないのである。從つて我々は正しい公民館の運營によつてのみこの法律の存在が意義づけられることを認識しなければならない。

論壇

メーヤ先生を迎えて P.T.A活動の發展に寄す

中學校長 佐山武雄

この度、連合PTAの社會学級の仕事として、メーヤ先生を迎えて九月十九日、中学校講堂に子供の遊びの問題の討論會、先生の御講演、高橋ヘナ先生の縣下各地のPTA活動の實例について、種々御指導をうける機會をえましたことは、非常に喜ばしいことでありまして、感謝に堪えない次第であります。

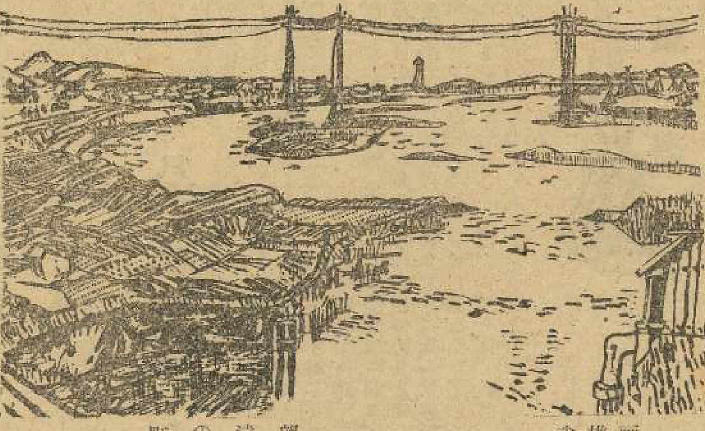
當日メーヤ先生のお話しになられた通り、学校と地域社會との協力は、教育上最も大切な事であつて、子供の種々な要求に應じ、子供を幸福に育てるために、PTAが生れたのであります。父兄の協力なしでは、学校教育の効果は絕對に上らないのであります。

学校では新しい時代の教育を實施しておりますが教科書が新しく書き改められても先生方が如何に熱心になつても、父兄が如何に協力して吳れるかが問題であつて、之がなかつたならば、新教育は混亂するばかりであります。當町のPTA活動も当日盛會の様子にも示された樣に、理解と熱意に滿ちたものですが、学校では互に話し合いによる教育法がとられて、生徒の將來の社會生活にも、現在の学習上にも多大の成果を擧げているのですが、家庭では如何でしようか。父母は親の權威を以て子供達の意見を抑えつけては居ないでしようか。教育の最も大切な點は、生徒が家庭や社會で絕望せずに自信をもつて明るい希望をもつて行かれるようにすることであります。此の點教師も父兄も一致して努力しなければ其の成果を望むことは出來ません。

学校では色々調査研究した資料を提供し、父兄と協力研究して問題を解決しつゝ、子供の幸福のために、明るい、滿たされた、豊かな、教育環境を作り上げるために、お互いに努力しようではありませんか。

新有權者名簿に洩れていませんか

九月三十日申告した選擧資格者名簿は明年四月行われる參議院を始め、二十五年十二月廿九日迄に執行される各種選擧に使われる名簿で、十一月五日から十五日迄從覽期間中役場に備えつけてあるから各位閲覽の上万一洩れていたら係に申出て公民の資格を失わないよう



展けゆく 河景に深し 秋の色　良遊

町の遠望　武雄画

人は右側 車馬は左側 通行

交通取締法が改正になつて、十一月一日から人は右側を車馬は左側通行となつた。

これは交通事故を防ぐためで、今までのように人も車も左側を通行すると車が人を追越す時突き当つたり。後から來た車に氣附かず車の來た前へ出たりして思わぬ怪我をすることが多かつた。それで今度對面交通と云つて人は右側を通り向うから來る車はその內側の左を通るので、人と車が向いあつてすれちごうので事故がない。英国では既にこの方法を行つて事故が非常に少いので、我が国でもこの新しい方法を採用したもので、狹い道路でも車馬は左へ左へよけ合つて通り人は絕對に右側を通行せねばならない。

また交通事故を防止するため、道路に物や自轉車リヤカーなど置かぬこと、ボール投げや子供を道路で遊ばせぬこと、横に並んで歩かぬこと、自轉車の無燈火、二人乘りは絕對に止め、曲り角は前後左右に充分氣をつけて通ることである。

次は二十三年の交通事故の統計で、見るだに肌に寒さを感じるものである

全国で二一、三四九件

死者	三、八四八名（一日十人、五）
負傷者	一七、六〇九名（一日四八人、二）

縣下では二九八件

死者	五三名
負傷	二二三名

尙交通違反は、これまで五千円以下の罰金であつたが、今度の改正で十倍の五万円以下の罰金となつた。

お互に交通規則や道德をよく守つて事故をおこさぬよう氣を付けましょう

伸びゆく水道

新保へ 鵜田古木へ

八月下旬四十五萬余円をもつて、新保上木戸部落（加入二十六戸）へ延長給水した處、喜びと感謝に滿ちていたが、今回更に中下両部落の要請に應じ豫算約八十萬円（一部町負担）で龍玄境まで延長するに決し、二十日着工、九月末日竣工、十月より給水を開始した。また鵜田古木方面へは二十七萬余円（七萬余円部落負担）をもつて新津縣道新道境の部落はずれまで擴張十月始給水の豫定である。

病弱者のない健康の町へ

國保加入は義務制

去年九月法の改正で町營として發足滿一ヵ年を迎えた国民保險の現狀は次の通りで、當局では今後も療養担当醫師から不平の出ないよう、診療費の期日內支拂を繼續、一番円滑なる運營を期したいと町民各位の協力を要望している。

○利用者の狀況

二十三年九月（一ヵ月分）	
醫師人數	七名
療養人數	六九名
療養日數	四八三日
療養點數	三、三九六點
二十四年四月	
醫師人數	三三人
療養人數	五四六人
療養日數	四、〇一一日
療養點數	三三、〇二六點
同　八月	
醫師人數	三六人
療養人數	六四七人
療養日數	四、九四六日
療養點數	四七、〇三四點

○保險料納入狀況

七十%以上九十%迄新町一番町二番町水田鎌倉新保第一同第四同第五

五十%以上七十%迄泉町上稻荷町渡場町住吉町神明町横町東町出雲町三番町四番町梅田町朝日町山吹町鵜田古木横川小向天ヶ澤矢代田第一同第二同第三同第四同第五同第六同第十二新保第三

五十%以下榮町上下中野上田町諏訪町花見町下稻荷町五番町矢代田第七同第八同第九同第十同第十一新保第二東藏町

恒例の文化祭

今年は第四回です

十一月二、三日に

今から御期待と御準備を……

美術協会＝發足

當町美術人による連合体として結成された同會では目下會員募集中（洋画、日本画、彫塑、工藝、書道）照會其の他は、中學校佐山武雄宛に

横水分館の歩み

公民館報の發行こそ連絡修養上なくてはならぬものであり、また私達が首を長くして待つものの一つでもあつた。ここに貴重の紙面を借りて分館の歩みを書いて見よう。

我が横水分館は公民館の使命たる連絡協調融和の線を歩みながら、鄉土の協にお互いに努力しています。何んといつても人の和がなくしては何事もなしとげる事が出來ません。人の和を根底に分館機構たる產業部、社會部敎養圖書部、体育藝能部等きんみつの連絡をとりながら、各種團体との連絡發展をはかり、鄉土の振興をめざしています。即ち、產業部では鄉土に即した農業研究をたえずやり（一例をあげれば病虫害豫防とか品種改良等の講習會懇談會を開く）增產への助けとし一方讀書クラブや社會學級等にて教養をはかり、人間性の充實をめざし、地味ではあるが一步は一步より高次の段階につき進み、鄉土振興を期しています

模擬町會

小須戸町聯合青年團は政治敎育普及のため十一月二日頃模擬町會を催す。これに出場する模擬町長及び町議を選出するため選擧對策委員會を設け十月中旬から本格的運動を開始する。

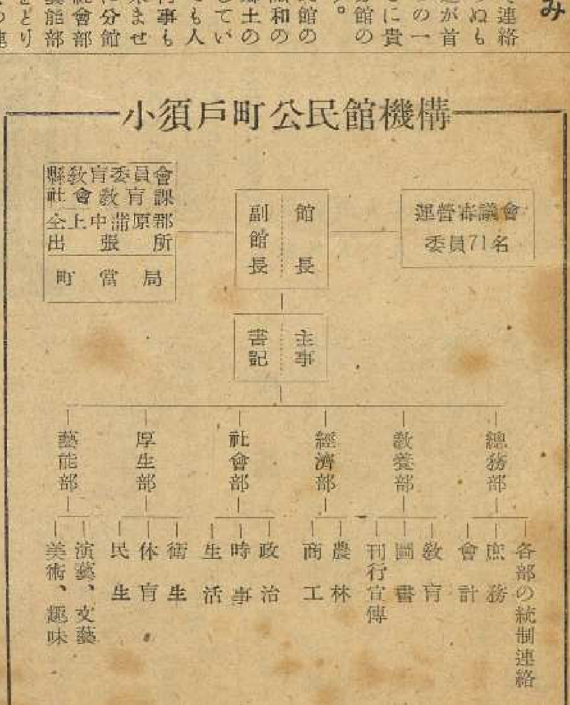
舌端火を吐く

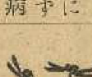
近鄕青年辯論の華

小須戸青年團主催近鄕青年辯論大會は九月二十三日午後七時小須戸校で開催、舌端火を吐くの大熱戰を展開、審査の結果武田女紅一點を加えて八名が入賞した

一等	丸賓良雄	光化農場
二等	久保護郎	高校
三等	村山又雄	小須戸青
四等	佐藤郁郎	〃
五等	高野昭夫	横川青
六等	保科勇	高校
七等	坂井秀雄	新保青
八等	武田美園	高校女

小須戸町公民館機構





町民の聲

▼汀へは鼻もちもならないチリ芥から、捨て難い良品やら、たまにはまた貴重な珍品なども拾い出すこともある。良いもの悪い品、色とりどりの雜多が遠慮なしに流れつくのが、この汀だ。次ぎは、今月の汀へ打ち上げられたガラクタ

▼人道いまだ地に墜ちず去んぬる日新津登記所代書人井上氏所用で本町某家へ出向いた處、隣家の某女三兒を抱いて困窮せるを見ていたく同情し、なにもいはずに百圓札五枚を某女の膝にのせて立ち去つた。某女感わきまつて、これまた何も云い得ず、目に熱い涙を一パイ、お札をおしいただきながら、片手拜みに井上氏の後姿を拜んだ

▼横町を貫くアノ大下水溝、夏は蚊と蠅の製造所、近頃は塵芥の捨て場、町当局が聲をからして、ヤレ家の大掃じだ、下水の淸掃だ、と大聲振りあげても、アンナ不衞生な不潔溝が町裏にあつては、何の役にもたつまい。係りや当局の目に止まらんと見える。一日も早く何とかして下さい。余り自慢にならない名物をネ

赤い羽根の御報告

…赤い羽根は温い胸…

全町擧げての共同募金運動は次のように割当額の九〇%を消化致しました

『小唄勝太郎』で	六四、六七〇円
『すわらじ』で	四九、四九七円
中学生の街頭募金で	四、八四一円
合計	一一八、九七八円
町割当	一三三、〇〇〇円

公民館誌より

◇七月三十一日 連合青年團体育大會コックス軍政部長視察、觀覽、激勵の辭を述べらる（於中学校グランド）

◇八月十日 讀書クラブ例會（於小須戸小学校）

◇八月十四日 無料映畫會「幸運の椅子」外（於小須戸小学校）

◇八月十六日 野外映畫公開「漫畫西遊記」外（於諏訪神社境內）

◇八月二十日 連合婦人會總會 見玉まつえ女史の講演並に盛澤山の余興あり（於中学校講堂）

◇八月二十五日 俳句同好會一週年記念句會（於正蓮寺）

◇八月二十六日 町民圍碁將棋大會（於了專寺）

◇九月一日 東蒲原郡揚川村公民館より二十五名視察に来館

◇九月五日 共同募金「小唄勝太郎」上演（於中學校講堂、晝夜二回）

◇九月十一日 定時制高校一週年記念式、式後記念行事として辯論大會、レクリエーションあり（於中學校講堂）

◇九月十五日 町民運動會（於小學校グランド）

◇九月十九日 連合PTA總會 民事部よりメーヤ女史臨席指導さる（於中學校講堂）

◇九月二十日 共同募金「すわらじ劇團」上演（於中學校講堂、晝夜二回）

◇九月二十三日 近鄕青年辯論大會（於小須戸小學校）

景氣？不景氣？

第四支店の窓口からのぞいた　町の懐ろ

金づまりの聲におびえている折りも折り、ポンド切下げの報を入れて、經濟界も何かしら一抹の暗影を投げかけていろようだ。では一体町の景氣はどうか、つぎは第四銀行小須戸支店の窓口からのぞいた、小須戸經濟の概況である

昨年十二月から今年六月まで六ケ月間の日銀通貨發行高は、五四六億円の減少を示した。その内容は、農漁村二七六億、生産部門一二五億、商業部門七九億、一般消費三五億円、とそれぞれ縮少で特に農村の減少が目立つている

縣内狀況は、預金八千万円增加に對し、貸出金が四億六千萬円の增加で、近來稀な資金逼迫を示した。これは主として紡績製糸、織物工業の原料買付、諸工業の運轉資金の需要が旺盛による

小須戸の懐具合は

業種	貸出（二四年六月）千円	預金（二四年六月）千円
工業（土建を含む）	九〇、二六八	八、三三三
農林産	一〇、五八八	一三、二七三
商業	二、五六六	九、二三〇
金融業		二五四
公共團体	二、〇〇〇	二、四〇〇
個人消費	二	三、四九九
納税預金		

こうして見ると、相当財布も温かそうには見えるが、金詰りは事實で、殊に農家方面では

縣内農協組預金殘高
二四年一月末　五六、〇億円
五月末　四二、二〃
六月末　三七、六〃
七月末　三四、六〃

漸減の一途を辿つている

これは青果物の低落により、懐の窮屈さを現し、また一面都市へ流れる傾向を示している。だが農作による收穫に期待が大きい。また織物工業も不振ながら、秋冬物に活況が期待されている

豚と緬羊を

飼育しましよう

養豚家相互の連絡を密に有畜農業の普及、養豚の改良發達をはかり、農家經營の健全化を期するため、本年二月設立を見た本町養豚組合では

①飼料の共同購入
②種豚仔豚の共同購販斡旋
③養豚の改良增殖及管理の改善指導
④有畜農業經營調査研究
⑤講習會座談會開催

その他目的達成に必要な事業を実施して來たが、特に六月頃から縣外各地に豚コレラが發生、侵入の恐れがあつたので、八月三十日全豚に豫防注射を行つて未然防止につとめた。なお現在の組合員は七十一名で、豚數は田中工場の仔豚四十頭親豚十頭を除き七十五頭飼育されている。

又同樣目的で三月設立した緬羊組合も、加工用具薬剤の斡旋共同購入羊毛の委託加工などを行つて奨勵につとめ、小向部落の十餘頭を筆頭に現在三十頭に迫り緬羊が飼育されるにいたつた。事務所は兩組合とも農協内において活動している。

子供の遊び

中学校では全校一斉に九月十四日、学校外における生徒の遊びについて調査した結果、次のような統計を得ました。

▲男子

種目	1年 135名	2年 158名	3年 125名
野球	三三・五	四一・三	三三・六
高跳び	四・五	三・八	〇・八
かくれん坊	四・五	三・二	〇・八
将棋遊び	五・二	五・七	五・六
バッチ	五・三	二・五	〇・〇
走り競争	三・九	一・七	四・八
水泳ぎ	〇・七	九・五	〇・〇
卓球	三・七	三・二	二・四
魚釣り	二・二	五・一	〇・八
讀書	〇・七	二・三	一三・〇
角力	〇・七	一・三	一・六
鬼ごつこ	二・三	六・三	〇・八
その他	二三・〇	一三・三	一六・八

▲女子

種目	1年 108名	2年 169名	3年 94名
いちよう	二九・六	二三・五	一・一
お手玉	五・六	五・三	〇・〇
縄飛び	〇・九	一・三	五・一
かくれん坊	一・一	六・五	一・一
鬼ごつこ	一五・七	二・四	一・一
讀書	五・六	一九・〇	七・三
走り競争	四・六	三・六	〇・〇
まり投げ	四・六	〇・〇	〇・〇
編み物	〇・〇	三・六	八・五
碁石遊び	七・四	〇・六	〇・〇
ゴムとび	〇・九	〇・六	〇・〇
其他	一三・九	二四・八	一九・二

おらが町から積み出すお米は

二萬六千九百俵

今年の稲刈りは昨年より五六日おくれ去月十六日頃からいつせいに刈り出し二十一日の初日以來九月分の早場米が農協倉庫に搬入されており、いま農家では十月分も割当を完納するため文字通り猫の手も借りたい忙しい眞最中である

今年の作柄は九月十二日食調委の調査によると昨年より約一割二分減の見立、これに對する供出割當は一割增だが、喰いこみがないのと食糧事情に關する正しい認識で大体完納可能の嬉しい見透しをつけている

本町の完全保有者農家作付面積は七、〇五六反余で生産割当が一七、四八五石、供出量は一〇、五五五石このうち早場米が九月中七、六一〇俵十月十五日迄五、一五〇俵十月三十一日迄七、五五〇俵となつており、九月十七日の実行組合長會議で人口增減によつて補正された部落別供出割当は次の通りである

小須戸第一　五九九石八四七
同第二　五八石三五六
横川　一、四二二石五二三
小向　九九三石七一七
水田　八六五石八四六
鎌倉　七二一石三八七
天ケ澤第一　四九九石四三三
同第二　四五九石九七八
矢代田第一　五七二石二九七
同第二　六〇四石八一二
同第三　四五二石〇四七
新保　二、三五三〇七六三
龍玄　九九〇、九九五
計　一〇、五五五石

配給だより

十月分

味噌一人当り一二〇匁
醤油一人当り　三合
砂糖　〃　四〇匁確定
石鹸　〃　一個確定

で木炭は家庭用業務用共に申込數量だけ配給できる見とうしだから、各登録店に必要量を申込まれたい。乳製品も同樣申込制だから役場配給係に申告してもらいたい

なほ回覧板が出たら月末までに購入してもらいたい。翌月になるとその月分の權利が自然消滅してしもう

公民館と女性

固く閉されて居た自由な扉も民主々義の太陽の前に限なく開かれました。今迄は日本の封建的悪雲にとざされ、此の雲に幾百万の女性が暗い生活を續けたことでしよう。此の暗い悪雲を拂つて明るい陽光が照り、同時に山野に各々の個性に咲きほこつて居る山百合會が生まれました事は、又太陽としての公民館が出來たことは誠に喜びにたえません。

殊に私達農村女性は、男性にも劣らない重勞働をやり、自然氣持もすさび、何か私達の生活する社會がおそろしいくらいになつている

只々山野に咲き誇る自然の美あるのみ、名あろ繪師の藝術も良いでしよう、然し其れ以上に尊いものは眞の女性がもつ美しさ、しとやかさでないでしようか山邊に、或は野に咲く百合の美しさでありしとやかさであり、此の姿こそ眞に女性のほこりではないでしようか此れを生かす事こそ共存共榮の民主々義であり、自然太陽の照る歡喜の世界であります。若し私達女性の世界から美しさ淑やかさを抹消したならば、社會は獸の世界と云つても過言ではないと思います

そして一生を斗爭に終らなければならないでしよう。それ故美は如何に尊重しなければならぬか、この美の中には香り高い精神と偉大なる信念の力が有る事を忘れてはならないと思います。それ故公民館の出現は、仔細なる草木の如きものまでもすく〳〵と育成さすべき太陽にも同じものであり、此の精神で小須戸町公民館の公民ならしむべき活潑なる發展を望み、又野に谷に咲きほこる山百合のほゝえんで居る事を忘れないで下さい

横水　山百合會　悦子

讀書クラブ

▼九月の買入圖書▲

〔現代〕
次郎物語(三〜四)　下村湖人
三百六十五夜　小島政二郎
天の夕顔　中河與一
〔時代〕
高山右近(下)　吉川英治
〔ユーモア〕
てんやわんや　獅子文六
おばあさん　〃
ブロンディ(5)
〔隨筆〕
虫のいろ〳〵　尾崎一雄
〔ホンヤク〕
風と共に去りぬ(一〜四)　M・ミッチェル
〔記録〕
流れる星は生きている　藤原てい
怖るべき子供たち　菊岡久利
軍艦大和　吉田満
レイテ灣の日本艦隊　中野五郎
イムパール　高木俊郎
雅子たおれず　石田雅子
小島の春　小川正子
忘れられた子ら　田村一二
〔教養〕
新しい映畫美　津村秀夫
母　南原繁

映畫会

十月二日夜七時
小須戸小学校
料金　三十円

松竹特作
麗人草

〝共同募金〟

町民運動會より

九月十五日、珍らしい秋晴れの一ト日、公民館体育協會陸上競技部主催の町民運動會が、小学校のグランドでにぎやかに開催された。町部、在部老若男女を問わず集まつた人達は約一五〇〇人、終日和やかな氣分の中に盛澤山のプログラムが進行した。會長村山町長の挨拶も珍らしくユーモアを含み、來賓席の御歴々の間にも終始微笑爆笑の連續であつた。かあいらしい学童の團体遊ぎ、張りきつた選手權競技、さては職域、地域別の對抗リレー等もさることながら、どじようつかみや半喰い競走、借物競走、自轉車のおそ乗り競走等々、町長も校長も署長も驛長も、親父も、あんちやんもおかゝも娘も入りまじつての競走は、なんといつても人氣の焦點だつた。各商店から寄贈の賞品も奇抜で干物竿があつたり、新が出たり、本當に樂しい一日の集いであつた。

選手權獲得者次の通り

種目	獲得者
一〇〇米	佐藤幸康
女六〇米	小林ヨリ
八〇〇米	宍澤廣榮
八〇〇繼走	矢代田チーム
女四〇〇繼走	中学チーム
職域繼走	田中チーム
巾跳	五十嵐明
高跳	仝
砲丸	五十嵐重雄

學校だより

▲**新津高校小須戸分校**

九月十一日晴れの開校一週年記念式を町民その他各方面の協力によつて盛大に擧行した本校は、去る六月十四日に佐々木長一氏を専任教授として迎え、こゝに新しく事務職員として森田昭司氏を得たことは、本校の發展の爲、誠に喜ばしい。

近い中に現在迄の週、五日制授業を六日制と改める案が練られつゝあるこれが實施されゝば、待望の自由研究、クラブ活動、農業の時間等を設けられるようになり、益々樂しい町最高の学園となるであろう。

▲**中學校**（九月の行事）

七日　縣教育委員會より伊藤主事さんをお招きして、学校の經營、組織、設備をはじめ、教科課程、学習指導等々多くの問題に關して、午前午後にわたる長時間、講義と質疑應答による有益な御指導を受けることができた。

十六日　珠算競技會
毎月一回行われるもので学級(選手十名)對抗競技の催しである。学級毎に一回催される大會と共に、生徒の珠算技術向上を勵ます爲の重大な行事で、今回も生徒の手によつて立派に計畫實施され、夏期休暇後ではあつたが豫想以上の成績をあげ得た

十七日　新津郷球技大會
今回は野球と排球の二種目が新津第一中学グランドで行われ、本校はいずれも二十七日の郡大會へ出場することができる成績であつた

十九日　学校視察のため來校されたメーヤ女史は生徒はじめ、當日午後開かれた連合P・T・Aの總會の席上は勿論その後有志による座談會にまで臨んで、夜のとばりの下りるまで熱心にお話しくださつて多大の感銘を與えられた。

▲**小須戸小學校**

九月二十五日　運動會
十月下旬　音樂會
十月中旬　科学、社會科研究發表會
十月下旬　兒童作品展覧會

町のあれこれ

偉駄天出でよ
町内驛傳競走

小須戸体育協會では十一月初旬町内十ケ青年團を總動員して腕つこきならぬ偉駄天を各團から選出して町周圍一巡の驛傳競走を催す

町政をきく
町青年團の計畫

▲町青年團は十月中旬町長助役を圍んで町政をきく會を開く

▲下旬更に町會六常任委員會を中心に町振興座談會を催する

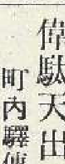
新保分館
文化講座

農繁期の乳幼兒の健康にそなえて新保分館では九月二十二日母の會を開催し、森内醫師を講師に乳幼兒検診、母乳の適否、農繁期に於ける離乳と榮養に付いて、また疫痢と下痢の早期發見、應急手当法の實地指導、予防醫学について指導訓練があり大きな收穫を得た

〇新保龍玄女子青年團

文化向上のため毎月婦人雜誌を回覧、毎月一日十五日部落と神社の清掃、四季に文集發行、災害時相互扶助を實施している

小須戸風土記



「機業のおこり」

ちやんころ〳〵隣り近所にはたの音がします、小須戸は昔からはたどころです、はた屋の盛んな頃は一寸したはた屋でも五六人の女工さんがいたもので『お前子守かどこへ行く私は小須戸の女工さん』と歌われて繁昌したものです。小須戸にいつ頃から織物ができるようになつたかというと享和の頃、竹石留吉という人が「地機」というはたを發明したといわれております、その後弘化の頃に仙之助という人が地機に改良を加え「中機」というものを發明したといつていますが、それ以前でもはた屋はあつたものと思います。そしてその頃のはたの音は『きい〳〵くわいかつたんこ、新保龍玄廻つてこい』などといわれていました。慶應の頃はすでにはた屋が二百八十九軒もありました。連治、辰五郎、五郎吉は婦女子でやつていました。職工の多いのは德右エ門彌八で大きくやつていました、機具大工さんは彦蔵、丸右エ門、波次郎などがいて当時は大和はたごを作つていたといいます

それ以前は長は
たごというのがあつ
のです。しかしその
町民の需要を滿たす
でありました。その後
良工夫をこらして布
、紺飛白布、木綿縞
織るようになつて、明
三十二年には縣の準
より小須戸物産組合を
織し製品の改良發達を
つたので、納戸織物、
織物、廣布、前掛地
縞等あらゆる品を造
うになりました。そ
ら明治三十九年以來
機械が普及して一層
も良く、殊に小須戸
全國に知られ、販路
擴がりました、大正
頃には年産反數五十
生産して小須戸は
ころとして廣く知ら
した。今の小須戸織
業組合は明治四十三
月に出來たのです。(相)

文藝欄

俳句の集い　流水

秋たけたお彼岸の中日茂林寺の精舎に於て小須戸町俳句同好會員集う者十餘名で雨降る夜七時から寺古りし幽邃露深き梁山のあたり草むらにすだく虫の音は俳人の詩情をそそり兼題に席題にしばし思索に耽りて句作三昧に入る。九時を期して清記互選をなし四陣を作つて鑑賞す。俳味の金線に觸れたもの席題兼題各五句ずつを選評す。當夜高評を博した名吟を拾いば

兼題（女郎花。秋彼岸）

女郎花讀經へ一つなる祈り　虚秋
女郎花手摘に入れて商ないる　露風
流雲の落着く峰や秋彼岸　芳人
夕ざれの大氣に佇てり女郎花　太浪
法悦の頬歸りくる秋彼岸　草月
つづれさし佛の事など秋彼岸　花筆
前寺も簾捲きあげ秋彼岸　山葵
女郎花朝燒の蝶みじろがず　狼影子
一叢の女郎花墓石は山畑に　越水
明け昏れの瀬音わびしや女郎花　谺郷
髭寢ふ虫すがり居て女郎花　流水

席・題（編目三句中より）

秋灯し句心に深き疑惑あり　越水
虫一つ雷鳴に馴れて啼き出せり　狼影子
月出する頃蟲籠の美しさ　山葵
蟷螂の鎌眞向に天澄めり　花筆
籠り灯の深秋やがて雨到る　谺郷
秋晴や淺黄色なす裸山　太浪
はなれゆく人うらむまでちちろ鳴く　芳人
秋の燈に我影太くふと笑める　露風
秋蠅の執心しばし何の汚點　虚秋
炭火をきる音かそけしや虫の聲　流水

原稿募集

▲内容(町民の聲欄をふくむ)は特に限定せず、町のためあらゆる角度から見た建設的な御意見をどし〳〵お寄せ下さい

編集後記

▲漸く一号發刊の運びとなつた。貧しい才能と拙い編集の技術しか持ち合せない吾々町民各位の批正と鞭撻がなければと今後を心配している號を追うてよいものにしたい熱意だけは旺んである。

（玉庭印刷所印行）